

# 津波を知る

津波は、地震などによって生じた海底の隆起・沈降に伴い発生した海水の波が、四方八方へ広がり伝わっていく現象です。

- ▶沿岸に近づき水深が浅くなるにつれ、**急激に高くなります。**
- ▶津波の伝播速度は非常に速く、**見てから逃げるのでは間に合いません。**
- ▶海底の地形により反射や屈折を経て繰り返し襲ってきます。**後から来る津波の方が高くなる**こともあります。
- ▶津波の力は非常に強く、高さが**50cm程度の津波であっても**立ってられず、流されてしまいます。
- ▶津波は「引き」から始まる**とは限りません。**“潮が引いたら逃げればよい”というのは大きな間違いです。
- ▶沿岸の地形の影響などにより、**局所的に高くなる**こともあります。
- ▶潮位変化が始まってから最大波が観測されるまで**数時間以上**かかることもあります。

## 避難指示【気象庁の津波警報等の発表で発令】 「大津波警報」及び「津波警報」による避難指示

対象地域・地区		防災行政無線放送
港地区	<b>小島 瀬戸 津居山 気比 田結</b>	緊急放送、避難指示発令、避難指示発令。 こちらは豊岡市災害対策本部です。 兵庫県北部に大津波警報（津波警報）が発表。 港地区、竹野地区の沿岸部、城崎地域の円山川沿いに避難指示を発令する。 沿岸部、川沿いにおられる方は、今すぐ、高台などに避難すること。 鍵保管庫の番号は、「〇、〇、〇、〇」です、「〇、〇、〇、〇」です。 2025.1.24 一部見直し
城崎地域	<b>円山川沿い</b> （湯島（中の島） 今津 旭 円山 上山 結 戸島 楽々浦 などの川沿い） ※ 城崎温泉街は対象外	
竹野地区	<b>上町 中町 東町 馬場町 下町 西町 宇日 田久日 切濱 濱須井</b>	

- ▶高さ1mの津波が到達するまで時間は、地震発生後、**早いところで10分**しかありません。
- ▶津波ハザードマップに着色がある場所、その付近の場所は、津波避難が必要です。
- ▶海から離れ、近くの高台、津波避難場所などに避難してください。
- ▶避難指示は、気象庁の警報が解除されるまで続きます。  
 長時間の避難に耐えられる物品（寒さ対策、雨、食料、携帯トイレ等）を入れた非常用持出袋を準備してください。

## 「津波注意報」による避難指示

対象地区	防災行政無線放送
港地区	緊急放送、海岸部に避難指示発令、海岸部に避難指示発令。 こちらは豊岡市災害対策本部です。 兵庫県北部に津波注意報が発表港地区、竹野地区の海岸部に避難指示を発令する。 海岸部におられる方は、今すぐ、海から離れること。 2025.1.24 一部見直し
城崎地域	
竹野地区	

- ▶遊泳、砂遊び、ボート、磯釣り等をする全ての人は、海から上がり、離れてください。
- ▶津波注意報が解除されるまでは、海には近づかないでください。
- ▶避難指示は、海岸部のみに発令します。住宅等からの避難は必要ありません。

# 気象庁の発表する「津波警報・注意報」とは

気象庁は、地震が発生した時には地震の規模や位置をすぐに推定し、これらをもとに沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約3分を目標に、大津波警報、津波警報または津波注意報を、津波予報区単位で発表します。

この時、予想される津波の高さは、通常は5段階の数値で発表します。ただし、地震の規模（マグニチュード）が8を超えるような巨大地震に対しては、精度のよい地震の規模をすぐに求めることができないため、その海域における最大の津波想定等をもとに津波警報・注意報を発表します。その場合、最初に発表する大津波警報や津波警報では、予想される津波の高さを「巨大」や「高い」という言葉で発表して、非常事態であることを伝えます。

このように予想される津波の高さを「巨大」などの言葉で発表した場合には、その後、地震の規模が精度よく求められた時点で津波警報・注意報を更新し、予想される津波の高さも数値で発表します。

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表 (予想される津波の高さ区分)	巨大地震の場合の発表	
大津波警報	予想される津波の最大波の高さが高いところで3mを超える場合	10m超 (10m<予想される津波の最大波の高さ)	巨大	巨大な津波が襲い、木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
		10m (5m<予想される津波の最大波の高さ≤10m)		
		5m (3m<予想される津波の最大波の高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の最大波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合	3m (1m<予想される津波の最大波の高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の最大波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合	1m (0.2m≤予想される津波の最大波の高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

# 防災対策で重要な「自助」とは

災害による被害をできるだけ少なくするためには、一人ひとりが自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「共助」、国や地方公共団体などが取り組む「公助」が重要だと言われています。

その中でも基本となるのは「自助」、自らの命は自らが守る意識を持ち、一人ひとりが自分の身の安全を守ることです。

特に災害が発生したときは、まず、自分が無事であることが最も重要です。

「自助」に取り組むためには、まず、災害に備え、自分の家の安全対策をしておくとともに、家の外において地震や津波などに遭遇したときの、身の安全の守り方を知っておくことが必要です。また、身の安全を確保し、生き延びていくためには、水や食料などの備えをしておくことも必要です。

## 非常用持出袋を準備してください

津波避難は、早いところで10分で避難が必要です。そのため、屋外であっても、近くの高い場所が津波避難場所として指定されています。

津波避難での準備物は、**屋外で長時間避難できる準備**をすることが重要です。

- ▶雨、雪等の天候でも屋外で長時間避難できる準備をする
- ▶冬季の屋外の寒さに耐えられる（低体温症を防止）準備をする。
- ▶トイレがない場所もあるため、携帯用トイレなどを準備する。
- ▶夜間の外灯が届かない場所もあるため、懐中電灯などを準備する。
- ▶非常持出袋は、リュックサックなどで両手が使えるようにする。
- ▶10分で避難するために、事前に準備し、重すぎないようにする。

## 非常持出袋・準備物～チェックリスト～

<b>【袋に入れて備えるもの】</b> <input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 食料品（缶詰、ビスケット、チョコなど） <input type="checkbox"/> 救急用品（ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など） <input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ずきん <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 衣類、下着 <input type="checkbox"/> 毛布、タオル <input type="checkbox"/> 防災行政無線、携帯ラジオ、予備電池	<b>【屋外で必要となるもの】</b> ～低体温対策～ <input type="checkbox"/> 雨カッパ、レインウェア <input type="checkbox"/> 濡れにくいクツ <input type="checkbox"/> 防寒着、手袋、帽子 ＊屋外で長時間でも過ごせるもの <input type="checkbox"/> あたたかい下着（上下） <input type="checkbox"/> ランタン、ライト <input type="checkbox"/> レジャーシート <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ
<b>【避難の際に袋に入れるもの】</b> <input type="checkbox"/> 貴重品（預金通帳、印鑑、現金、健康保険証など） <input type="checkbox"/> スマートフォン・充電器	<b>【こどもがいる家庭での備え】</b> <input type="checkbox"/> 離乳食、液体ミルク、使い捨て哺乳瓶 <input type="checkbox"/> こども用紙オムツ、お尻ふき <input type="checkbox"/> 抱っこひも
	<b>【女性の備え】</b> <input type="checkbox"/> 生理用品、サニタリー <input type="checkbox"/> 防犯ブザー、ホイッスル
	<b>【高齢者がいる家庭の備え】</b> <input type="checkbox"/> 眼鏡、補聴器、杖 <input type="checkbox"/> 大人用紙パンツ、吸水パンツ <input type="checkbox"/> 薬、お薬手帳

**【お問合せ先】 豊岡市役所 危機管理課**  
 〒668-8666 豊岡市中央町2番4号  
 電話：0796-23-1111 FAX：0796-24-5932  
 Mail：bousai@city.toyooka.lg.jp



津波避難場所

